

印旛沼舟戸大橋架け替え事業 5億1000万円予算化へ

た。現在は仮橋前後の取付道路の工事を実施しているところだ。

取付道路が完成した後、旧橋の撤去や本体工事に必要な作業用構台の設置などに着手する予定だ。今後とも速やかな事業の推進に努めていく。

要望 滝田議員 事業の進捗状況と今後の見通しについては概ね了承した。地元の見通しは日に日に高まっているが、今後は舟戸大橋前後（印西市・佐倉市）の歩道整備についても、地元市と協議を行っていただくよう要望する。

コスモス通りの用地取得正念場
面積ベースで80%に

滝田議員 県道千葉竜ヶ崎線大森バイパス、通称コ



北千葉道路工事進捗状況を視察する滝田議員

取得にあたっての県と地元市の協力関係はどうなっているのか。

県土整備部長 事業の進捗においては、用地の取得が重要と考えており、平成18年度より、地元市に精通した印西市に用地交渉などを委託しているところだ。

スモス通りの進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 印西市草深地先から大森地先までの2・5キロメートルでバイパス整備を進めています。現在、用地の取得状況は面積ベースで約8割となっています。今年度は用地の取得を進めるとともに、終点側の改良工事を実施しています。今後とも事業の推進に努めていきます。

道路用地取得 印西市へ委託

滝田議員 事業の進捗については理解した。ただし、本事業は工事着手から約10年が経過し、今後、千葉ニュータウン事業の進捗が加速化する中、千葉県にはスピード感をもった対応が求められている。

そこだろうか、用地取得にあたっての県と地元市の協力関係はどうなっているのか。

県土整備部長 事業の進捗においては、用地の取得が重要と考えており、平成18年度より、地元市に精通した印西市に用地交渉などを委託しているところだ。

引き続き、印西市の協力を得ながら、残る用地の取得に努めてまいります。

要望 滝田議員 県は委託先の印西市の用地交渉を今後とも支援するとともに、地元市道整備との整合性をもった事業に努めていただきたい。

地域と一体となって推進

滝田議員 柏市長を発起人代表とし、関係9市と地元土地改良区を構成員とした「手賀沼地域農業農村整備事業推進協議会」が発足した。そこだろうか、協議会の設立を受け、県として今後、沼地域の土地改良事業を推進していくのか。

農林水産部長 推進協議会の設立を受け、県として、今度のように手賀沼地域の土地改良事業を推進していくのかとの質問ですが、本地域の基幹的農業水利施設は、農業生産を支えるだけでなく、広域にわたる流域排水機能を有していることから、県としても、国営事業による施設の更新は、極めて重要であると認識しています。

このため、推進協議会の意向を踏まえつつ、具体的



満員盛況となった会場

北総セミナー2014

滝田県議は12月2日、成田市で行われた北総セミナー2014に鈴木宗男・新党大地代表、佐藤



左から高田純、佐藤優、鈴木宗男の各氏

県政報告会が予定されていたが、衆院選公示と重なり急ぎでセミナーに変更。600人を超過する聴衆の前でスピーチを行うとともに、国家と地方、政治と人生そして友情について参加者と語り合いました。

な国営事業計画策定に必要な調査事業について、早期実施を国に要望するとともに、ほ場整備による担い手への農地集積や、用水のパイプライン化を図ってまいります。また、関係市や地元土地

改良区との調整など、推進協議会の活動にも積極的に参画し、効果の高い事業計画の検討を行うなど、今後とも、地域と一体となつて、本地域の土地改良事業を積極的に推進してまいります。

印旛明誠高、学級増へ

速報！

地元市長と市議会から要望を受け平成26年度、滝田県議が取り組んだ「印旛明誠高校学級増」について、千葉県教育庁は新年度予算案で同校単位制の充実に3200万の設計費を計上。総事業費6億5千万円、平成30年供用を公表しました。

110年の歴史を誇る地元伝統校発展にとって大きな一歩であり、結果を残した滝田県議の交渉力と政治力に対し内外の評価も高まっています。

平成30年供用・総事業費6億5千万円

たきた・県政報告会

たきた敏幸県政報告会



千葉ニュータウンで講演する森田知事（1/31）

森田健作・千葉県知事を印西市に招き、滝田敏幸・県政報告会が開催されました。会場には約200人の市民が集まり超満員となりました。

処分問題などについて、県及び議会の取り組みについての明快な説明と決意表明がありました。また、森田知事と滝田県議の強い絆、千葉県政と印西市の接近が多くの市民に深く印象付けられました。